

令和5年度 第3回羽島市社会教育推進審議会 会議要旨

日 時	令和6年2月16日（金）午後1時30分～午後2時45分
場 所	羽島市役所本庁舎 4階 第1委員会室
出席者	<p>（社会教育委員）出席者7人（欠席者1人）</p> <p>花村 伸二 委員(小中学校長会代表)</p> <p>松尾 東彦 委員(子ども会育成協議会代表)</p> <p>白木 幸子 委員(女性団体代表)</p> <p>坂田田壽子 委員(文化協会代表)</p> <p>渡邊 修 委員(コミュニティセンター館長会代表)</p> <p>高砂 房子 委員(学識経験者、家庭教育)</p> <p>二村 玲衣 委員(学識経験者、社会教育)</p> <p>（事務局）</p> <p>伊藤佳津子（市民協働部長） 岩田 睦巳（生涯学習課長）</p> <p>柴田 泰宏（スポーツ推進課長） 番 重宗（図書館長）</p> <p>大橋 寛子（生涯学習課主幹） 吉田 智紀（同課係長）</p> <p>後藤 哲雄（同課主事）</p>
内 容	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・会議開催成立の報告 ・会議公開及び傍聴の有無の報告 <p>2 副委員長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>令和5年度の取り組みについて 資料に基づき、事務局より令和5年度の取り組みを説明。</p> <p>（委員） 図書館の来館者について、新型コロナウイルスが5類に移行されたことに伴い、変化はあったか。</p> <p>（事務局） 昨年度や一昨年度と比較して、増加傾向にあり、コロナ禍以前に戻りつつある。</p> <p>（委員） 市立図書館は入りやすいと声を聞く。電子図書館の良さもあるが、</p>

やはり紙媒体の良さもあると思うので、直接足を運び、進んで読んでいただけるようにしたい。

(委員)

図書館の各種企画展の地域や学校への周知方法はどのように行っているか。

(事務局)

地域に対しては、市広報紙や市ホームページにおいて周知している。学校関係に対しては、「すぐーる」も活用している。

(委員)

ゴールデンウィークや夏休みの企画展について、エンターテインメント性に高い企画となっている。企画展のテーマはどのように選定しているのか。

(事務局)

スタンプラリーは、岐阜県公共図書館協議会と共催で行っている。司書体験や工作教室は、実際に来館することで、楽しんでいたような企画として開催している。また、みるく教室についても牛乳に関する書籍を併せて配架する等、図書館に足を運び、様々なことについて学んでいただけるよう企画を立案している。

(委員)

フライングディスクについて、競技の詳細が知りたい。

(事務局)

フリスビーのような円盤を円状的的に向けて投げ、円の中を通過した回数を競うものである。

(委員)

パラスポーツへの参加人口に関わって、現在は、低年齢から特別支援学級と通常学級のように分かれたクラスで生活をしている場合が多い。パラスポーツと題しているが、スポーツにおいてはそうした垣根を越えて参加できるようになるといい。

(事務局)

2月に開催された、ボッチャ大会は障がい者と健常者が一緒に競

技を行った。他のパラスポーツについても、今後、両者が参加できる競技の開催を予定している。

4 その他

(委員)

最近気になることとして、スマートフォンやタブレット等の電子機器の普及により、子どもや保護者の方が、手書きをした際に漢字が書けないということがある。

(委員)

普段、児童・生徒たちはタブレット端末を活用して学習をしており、動画を作成したり、プログラミングをしたり、様々なスキルが向上している。一方で、鉛筆を正しく持ち、濃く書くということが苦手な子が多くなっている。タブレットを利用しつつも、書く力も指導していかなければならないと認識している。

(委員)

機械がないと何もできない世の中になりつつあるが、自身の体と頭を使って「書く」、「話す」という力も養えると良い。

(委員)

青少年健全育成では、青少年育成委員がボランティアを募り、中学生が各地区のイベントで活躍している。

人権作文コンクールでは、一人ひとりが作文を書くことで人権を自分ごととして捉えることができている。

放課後子ども教室では、体験活動を楽しみにしている児童が多く充実した活動となっていた。

市美展においては、児童たちは、良い賞を取ろうという意欲をもって取り組んでいた。

スポーツ推進事業の一環として、プロバスケットボール選手を講師に迎え、教室を開催していただいた。将来バスケットボール選手になりたいと感想を述べた児童もおり、とても良い機会であった。こうしたプロ選手に触れ合える機会を充実させて欲しい。

どの活動においても、子どもの意欲や関心を伸ばす良い機会となっている。

(委員)

どの団体においても、後継者育成が課題である。先日、小学校低

学年や中学校3年生に向けて行った「お話広場」で手話を交えながらの絵本の読み聞かせや手遊び等の講座を行い、「手話の面白さが分かり楽しかった」という声をいただいた。人と人が関わる基本は、目を見て会話することだと思うので、こうした活動を続ける為にも後継者育成を願う。

(委員)

社会教育実習として放課後子ども教室を訪問した際、子どもに対する理解や接し方など、支援員やサポーターから学ぶことが多かった。子どもたちが地域と交流できる貴重な機会であるため、今後もより多くの子どもが参加できるよう継続していただきたい。

ボランティアのやりがいや善意に頼った形で一部事業を行っていくことは、先ほどの後継者育成にも関連して、さまざまな社会教育実践の場面で問題となっている。質の高い市民サービス維持のため、後継者を確保できるよう、適切な対価を払う等の工夫といった方策を模索していく必要がある。

(委員)

各地域のコミュニティセンターにおいても、サークルの減少や少子化が目立ち、地域事業の減少が課題である。また、スポーツ分野に関しても、部活動のクラブ化により、競技人口を増やしたいが、休日の場合、指導者の確保が難しい。指導者の充実を図っていきたい。

(委員)

コロナ禍が明け、各行事が再開している。今後も工夫をしながら継続して欲しい。

5 令和6年度岐阜県・岐阜地区の各種大会の案内

6 市民協働部長あいさつ

7 閉会

以上